

〇〇年〇〇月〇〇日

山梨県労働委員会
会長 〇〇 〇〇 殿

(被申立人)
〒000-0000 〇〇市〇〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

答 弁 書

山労委〇〇年（不）第〇〇号〇〇〇〇〇不当労働行為事件について、被申立人は、次のとおり答弁します。

1 請求する救済内容に対する答弁

(例) [本件申立てを棄却する
申立人らの請求を棄却する
申立てを却下する
との命令を求める。]

2 不当労働行為を構成する具体的事実に対する答弁

- (1) { 申立書に記載されている項目にそって、それぞれの事実に対して「認める」「不知」
「否認する」あるいは「争う」を記載し、さらにそれについての被申立人の主張（理由）
(2) を記載してください。
(3)
(4) }

【答弁書の記載要領】

- 1 答弁書は、申立書に記載された申立人の主張に対する被申立人の主張を記載するものですから、申立書をよく読んで具体的に記載してください。
- 2 記載方法は、申立書の各項目に従って箇条書きにしてください。
- 3 答弁書の作成段階では、通常、代理人の許可が行われておりませんので、答弁書は被申立人名義で作成してください。
- 4 答弁書では十分な主張ができない場合には、準備書面で主張してください。